

拝啓

師走を控え、街中も何かと慌ただしさを増してきている中、皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は「第9回北三陸じもつと基金」にご寄付を賜り誠にありがとうございました。地元洋野町や久慈管内、盛岡市など岩手県内の方々だけでなく、三重県や新潟県、東京都、札幌市など遠方の方々を含め、109もの個人・団体の方々から目標額の20万円を超えるご寄付をいただきました。皆さまのあたたかいご理解とご支援に心から御礼を申し上げます。

「とまりぎ」は、子育てに悩む保護者の話をじっくりと聞く活動や、児童生徒の『脳力』を向上させる活動（脳力アップ教室）、不登校や登校しぶりの児童生徒の安らぎの場となる活動を通して学校生活だけでなく、その後の社会生活にも大きな影響を及ぼす『自己肯定感』を養いたいと、昨年10月に立ち上げ施設です。立ち上げから1年が経過しましたが、当初私が想定した以上に多くの方々から利用していただいております。

また、B&G財団からは「B&G財団が全国238カ所で展開している『子ども第三の居場所』で、「とまりぎ」で行っている脳力アップ教室を導入できないかどうか検討したい。」と問い合わせがあったほか、岩手県教育委員会から「不登校フォーラム 2024Ⅱ（岩手県不登校児童生徒支援連絡会議）」への出席を依頼されるなど、多くの方から注目していただいております。

今回ご寄付いただいた資金で、「とまりぎ」の活動を一生充実・発展させていこうと、広報費（ホームページなど）や教材費（教材本など）、備品（プリンターなど）、消耗品（プリンターインク、印刷用紙など）などの購入に充てさせていただきました。

先月、「不登校児童生徒数、暴力件数、いじめ件数とも過去最高」との報道があったように、子ども達は色々な理由で『悲鳴』をあげ続けています。不登校数や暴力いじめ件数は、残念ながら今後もまだ増えていくと予想されており、「とまりぎ」の役割はますます重視されていくと思われれます。

なお、「とまりぎ」の詳細については、ホームページ（[info@h-tomarigi.net](mailto:info@h-tomarigi.net)）をご覧くださいませようご案内申し上げます。



今後も「子どもたちの笑顔」のために誠心誠意努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援をお願い申し上げ、略儀ながらこの書中をもちまして、ご寄付の御礼を感謝とさせていただきます。

敬具

令和6年11月吉日

とまりぎ 代表 太田武邦